

■三重県行幸啓 [即位礼及び  
大嘗後神宮に親謁の儀]



# 月刊 チャップリン

2020年(令和2年)

4月15日

第35巻2通巻213号

昭和62年5月22日第三種郵便物認可

¥200 1・4・7・10月 15日発行

発行人 株式会社アアムス 〒173-0027東京都板橋区南町62-7スカイコートK. 1階

## 天皇皇后両陛下三重県行幸啓

### 即位礼及び大嘗後神宮に親謁の儀

天皇皇后両陛下は「即位礼正殿の儀」や「大嘗祭」などの即位に関する一連の儀式を終えたことを伊勢神宮へ報告する「親謁の儀」に臨むため11月21日から23日三重県伊勢市に入られた。皇位継承の象徴とされ歴代の天皇に引き継がれてきた「剣・草薙剣」と「璽・八坂瓊曲玉」を持参する「剣璽動座」は、今年2019(平成31)年4月17日から19日、上皇上皇后(当時天皇皇后)陛下が伊勢神宮に退位されることを報告するために伊勢を訪れた際にも行われ、平成から令和の今年になって2回目となる。



伊勢神宮に納められている「鏡」八咫鏡」と合わせて「三種の神器」が揃うことになる。両陛下は21日と22日、伊勢神宮内宮の行在所でご宿泊され、22日に外宮(豊受大神宮)を、23日に内宮(皇大神宮)を参拝された。参拝には、天皇陛下は黄櫨染御袍を身に付け、儀装馬車で移動し、皇后陛下は十二単姿でオープンカーに乗る予定だったが、雨天のため御料車を使いそれぞれ参拝された。参拝終了後、23日午後、帰京された。



近鉄宇治山田駅にご到着された天皇皇后両陛下



内宮宇治橋を通り内宮参道を通り内宮行在所へと向かわれる天皇皇后両陛下

## 東日本パイロット協会

羽ばたけ東北



災害ボランティア フライヤーズ・レスキュー・チーム  
〒980-4504  
宮城県栗原市蒲町小深沢232-1 電話 0228-36-2717





神宮に親謁の儀  
伊勢神宮豊受大神宮

天皇皇后両陛下は22日伊勢神宮の外宮豊受大神宮で即位の礼や大嘗祭を終えたことを報告する儀式「神宮に親謁の儀」に臨まれた。天皇陛下は祭儀の正装「黄櫨染御袍（こうろぜんのごほう）」に立纏御冠（りゆうえいのおんかんむり）と言われる天皇陛下だけがかぶることのできる冠で最も格式の高いご装束に御笏（おんしゃく）、御挿鞋（おんそうかい）に身を包み2頭立ての馬車で参道を進まれ装束姿の側近たちが徒歩で同行した。続いて皇后様は釵子（さいし）という髪飾りに大垂髪（おすべらかし）という髪型を結び、御檜扇（おんひおうぎ）をお

持ちになり、十二単をお召しになられ馬アレルギーのため車で移動された。天皇陛下のご移動に使われた偽装馬車は宮内庁の馬車の中で最も格式が高く「動く美術品」とも言われている。馬車が皇居の外に出るのは上皇さま即位ご報告の際以来29年ぶりという。馬車1台と馬2頭を宮内庁から三重伊勢市まで運んだ。馬を操るのは宮内庁の車馬課主馬班（しやばかしゅめはん）という部署の御者（ぎよしや）であり、親謁の儀では片方の馬の上から2頭の手綱を同時にさばくという高度な技術を要し、馬を信頼して行なものである。



豊受大神宮への参拝を終え正宮を後にする天皇陛下



天皇陛下に続き参拝をされ正宮を後にする皇后陛下

特定非営利活動法人 社会生活促進援護会

山梨県笛吹市一宮町南野呂394番地1号  
電話 0553-47-2236